令和４年度地域包括支援センターの事業評価の中間報告について

１　評価の目的

運営法人及び区が、地域包括支援センターのサービスのレベルを共通の基準で把握し、意識改革や業務改善により事業の質を向上させるとともに、事業実施が適切に行われているかを明確にする。

２　評価手法

　令和4年度は国の評価指標の大項目Ⅰ.組織・運営体制等、Ⅲ.事業間連携を活用しながら区の独自指標を用いて区、受託法人及び包括で話し合いを実施する。

また、第三者の視点を取り入れるため、地域包括支援センターに対する利用者、民生委員児童委員、介護支援専門員のアンケートも実施している。

　３　今年度のスケジュール

　【事業評価】

　　6月～7月　地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化に関する調査（国

の評価指標）を各包括へ依頼→回答

 6月27日　第1回地域包括支援センター運営協議会にて評価内容を協議

 7月　　　 区の独自指標の自己分析を各包括へ依頼→回答

11月　　 各地域包括支援センター、各受託法人を交え話し合いを実施

1月30日　地域包括支援センター運営協議会にて評価結果の報告

 【アンケート】

　　5月中旬～７月８日 利用者アンケート実施

 6月上旬～8月19日　 介護支援専門員アンケート実施

7月～9月末　　 民生委員児童委員アンケート実施

 3月　　　　　 民生委員児童委員、介護支援専門員へ結果の報告

４　アンケート実施状況

1. 利用者アンケート　 回答数 1,098件（中間報告は資料1-6のとおり）
2. 民生委員児童委員アンケート

現在集計中。

1. 介護支援専門員アンケート 回答数 393件（中間報告は資料1-7のとおり）

※介護支援専門員は関わっている包括が複数の場合は複数枚提出可能。